



各 位

平成 26 年 10 月 10 日

会 社 名 日本電子材料株式会社
代 表 者 代表取締役社長 風間 悦男
(コード番号 6855 東証1部)
問 合 せ 先 取締役 管理部門統括部長 足立 安孝
電 話 06(6482)2007

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における業績予想の修正、 および営業外収益（為替差益）の計上に関するお知らせ

平成 26 年 5 月 12 日に公表した平成 27 年 3 月期(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)第 2 四半期連結累計期間の業績予想の修正、および第 2 四半期連結累計期間における営業外収益（為替差益）の計上につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 27 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,200	140	150	80	7.55
今回修正予想 (B)	5,040	230	320	300	28.33
増減額 (B-A)	△160	90	170	220	
増減率 (%)	△3.1	64.3	113.3	275.0	
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	4,618	37	66	16	1.59

2. 業績予想の修正理由

売上高につきましては、当初の予想値を若干下回る見通しとなりましたが、スマートフォン等に需要が拡大している NAND 型フラッシュメモリ向けを中心に販売強化をおこなった結果、アドバンストプローブカードの売上は堅調に推移いたしました。利益面につきましては、プロダクトミックスの改善、アドバンストプローブカードの受注増加に伴う MEMS 製造ラインの稼働率向上や VA 活動による原価低減効果、および為替差益や投資有価証券の売却益等により、当初の予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期業績予想につきましては、現在精査中であり、確定次第公表する予定です。

3. 営業外収益（為替差益）の内容

当第 2 四半期連結累計期間におきまして、急激な為替相場の変動により、為替差益を約 5 千万円計上する見込みです。なお当該為替差益は、平成 27 年 3 月期第 2 四半期末時点の為替評価替え等であり、この金額は今後の為替相場の状況により変動いたします。

注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上